

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 臨床研修病院群医師臨床研修プログラム

プログラムの特色

- 1 名古屋市立大学病院医学部附属西部医療センター(以下「西部医療センター」という。)は病診連携を基礎にした地域の中核病院であり、日常診療でよく遭遇する疾患をはじめ、急性期小児周産期医療を研修できる。
- 2 西部医療センターは総合病院として各科の専門医が充実しており、ローテート各科で専門医から指導を受けることができる。
- 3 西部医療センターの各科は関連学会の指定教育施設の認定を多く有し、将来専門医を取得するために必要な研修ができる。
- 4 選択科目の研修期間を充実し、西部医療センターに加え、年間 8,000 台を超える救急車の受け入れ実績のある名古屋市立大学医学部附属東部医療センター、高度先端医療を担う名古屋市立大学病院との連携を強化した臨床研修病院群の中から、各研修医が将来のキャリアを見据えた研修診療科の選択が可能である。

研修計画

- 1 研修期間は2年間であり、4月1日より開始する。
- 2 研修方式は当院臨床研修プログラムに基づいて行う。
 - (1)オリエンテーションプログラム
臨床研修を開始するにあたり、実践的なオリエンテーションプログラムを2週間行う。実際の診療を開始する上で全ての研修医に共通に必要な研修項目として、医療安全管理、院内感染予防、保険診療のしくみ、チーム医療の意義、院内使用薬品と処方、臨床検査オーダー手順、患者の栄養管理、地域医療、接遇などを研修する。
 - (2)計画の作成
各研修医の要望を加味し、プログラム責任者と研修医の間で調整し、オリエンテーション期間中に時間割と研修医配置表を編成する。
 - (3)ローテート研修
以下のローテート研修を行う。
 - ① 1年目研修—**必修科** ※1～2ターム分は2年目に研修
内科24週間(総合内科2週間、呼吸器内科4週間、消化器内科4週間、循環器内科4週間、脳神経内科2週間)を必修とし、残り8週間を内分泌・糖尿病内科4週間、血液・腫瘍内科/リウマチ・膠原病内科4週間、腎臓・透析内科4週間の3科から2科を選択する)

外科4週間、小児科4週間、産婦人科4週間、麻酔科4週間、外科系4週間、救急部門12週間(西部医療センター救急部門8週間を必修とし、救急部門4週間又は東部医療センター救急科・心臓血管センター・脳血管センター4週間(循環器内科・心臓血管外科・脳神経外科・脳神経内科から2科を選択、各2週間研修する。)のいずれかを選択する)

外科系研修として、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科のうち1科又は2科選択し4週間研修を行う。

1年目(1タームを4週間とする。)

ターム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
研修科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	外科	小児科	産婦人科	麻酔科	救急	救急	救急	外科系
	 一般外来													

② 2年目研修—必修科及び選択科

必修科—地域医療4週間、精神科4週間

地域医療は、愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院、国民健康保険上矢作病院、医療法人開生会かいせい病院、医療法人輝山会記念病院、新城市作手診療所、知多厚生病院附属篠島診療所、日間賀島診療所、医療法人笠寺病院にて4週間研修する
精神科は、名古屋市立大学病院にて研修する。

選択科—40週間

必修科の他、放射線科、病理診断科及び東部医療センター、名古屋市立大学病院、みらい光生病院、みどり市民病院、リハビリテーション病院の各診療科より幅広く選択する。
または、志望する科及び関連する科を中心に選択ローテートする。
(希望により同一科を複数単位研修することも可能)
ただし、西部医療センターでの研修期間が52週以上になるようにする。

2年目(1タームを4週間とする)

ターム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
研修科	地域医療	精神科	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科
	 一般外来									

③ 並行研修

研修期間を通して4週間の一般外来研修を、他の診療分野の研修と同時に進行。内科、小児科、外科、地域医療で併せて4週間(20日分)行う。

各分野の研修日数の目安

- ・内科(総合内科以外の22週) $0.5 \text{ 日} \times \text{週} 1 \text{ 回} \times 10 \text{ 週} = 5 \text{ 日}$
- ・総合内科 $0.5 \text{ 日} \times \text{週} 3 \text{ 回} \times 2 \text{ 週} = 3 \text{ 日}$
- ・外科 $0.5 \text{ 日} \times \text{週} 3 \text{ 回} \times 4 \text{ 週} = 6 \text{ 日}$
- ・小児科 $0.5 \text{ 日} \times \text{週} 2 \text{ 回} \times 4 \text{ 週} = 4 \text{ 日}$

・地域医療

0.5日×週2回×4週=4日

なお、ローテート研修内で、予防接種等を含む予防医療、虐待への対応、社会復帰支援、緩和ケア、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の研修を実施する。

(4)救急診療

プライマリ・ケア習得の最優先業務として位置付けており、1年次・2年次を通して、日常よく遭遇する疾患については自力で対処できる基本的な知識と技術を養う。時間内の救急患者は救急部門のローテート時、および、各科ローテート時に、担当医(救急担当医、主治医)の指導のもとで、研修する。平日の時間外、土日祝日の救急患者は当番制で行い、当直当番医の監督のもとで研修する。平日の夜勤は月2~3回を予定。土日祝日の日勤は月1~2回、夜勤は月1~2回を予定。日勤8:45~17:15、夜勤17:15~翌日8:45とする。

(5)その他教育に関する行事

ローテートする各科の症例検討会、抄読会、カンファランスなどに積極的に参加する。その他、医局会主催による各科のレクチャー、病院全職員を対象とした全体研修、教育講演会、各種委員会勉強会等に参加する。

(6)病理解剖・CPC

病理解剖には参加できる全ての研修医が立ち会う。定期的に行われるCPCに出席し、症例検討に参加する。